

別紙 3

【薬効分類】 3 2 1 カルシウム剤

【医薬品名】 グルコン酸カルシウム水和物

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

u003c/divu003e

現行			改訂案		
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） <u>強心配糖体の投与を受けている患者</u>			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） (削除)		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌（併用しないこと）			10.1 併用禁忌（併用しないこと）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
強心配糖体 <u>メチルジゴキシン</u> <u>ジゴキシン等</u>	<u>強心配糖体の作用を増強し、徐脈、心室性期外収縮、房室ブロック等の中</u> <u>毒症状を誘発するおそれがある。</u>	<u>カルシウムは強心配糖体の心筋収縮力増強作用を強める。</u>	強心配糖体 <u>メチルジゴキシン</u>	<u>強心配糖体の作用を増強し、徐脈、心室性期外収縮</u>	<u>カルシウムは強心配糖体の心筋収縮</u>
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
(新設)			(新設)		

	<u>ジゴキシン</u> <u>デスラノシド</u>	<u>縮、房室ブロック、心室</u> <u>頻拍等の中毒症状を誘発</u> <u>するおそれがある。治療</u> <u>上やむを得ないと判断さ</u> <u>れる場合を除き、これら</u> <u>の薬剤との併用は避ける</u> <u>こと。やむを得ず併用す</u> <u>る場合には、心電図検査</u> <u>等によるモニタリングを</u> <u>行い、不整脈の発現に対</u> <u>応できるようにするこ</u> <u>と。また、急激にカルシ</u> <u>ウム濃度を上昇させるよ</u> <u>うな使用法は避けるこ</u> <u>と。</u>	<u>力増強作用を強め</u> <u>る。</u>
--	-------------------------------	---	------------------------------